

事業シート(令和6年度決算)

事業名	71100 道路河川等整備推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	1	土木管理費			分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	1	土木管理費		施策分野		(4)	道路・河川			
担当課	建設部 建設課		内線	2321											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,957	3,813	3,789	3,789	3,693	△ 120
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		3,957	3,813	3,789	3,789	3,693	△ 120
新規・拡充	主な事業内容						
	各種同盟会への負担金	3,667	3,530	3,339	3,339	3,251	△ 279

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	3,591
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,591	3,591	3,591	△ 198
3,591	3,591	3,591	△ 198
査定額	説明		
2,971			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ22回(6月～1月)要望書を提出し、事業促進を提言した。
評価等	・飛驒地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うとともに、同盟会負担金の低減を図った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ23回(7月～3月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 ・飛驒地域3市1村で豪雪による除雪費に関する要望を国、県へ実施した。
評価等	・飛驒地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うとともに、同盟会負担金の低減を図った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・国等の道路及び河川等の整備促進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	72300 ～ 道路新設改良事業費 72370			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	橋りょう長寿命化修繕計画、過疎地域持続的発展計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり				
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川				
担当課	建設部 建設課			内線	2328											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
耐震、長寿命化対策実施橋りょう数(累計)	124橋	127橋	150橋
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	67.7%	68.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		522,020	417,870	357,520	444,520	395,790	△ 22,080
特定財源	国費 (道路整備事業費 5.5/10、5/10)	233,974	162,396	185,350	228,100	191,250	28,854
	県費 ()						
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金)	183,360	145,843	142,000	132,800	130,800	△ 15,043
一般財源		104,686	109,631	30,170	83,620	73,740	△ 35,891
新規・拡充	主な事業内容						
	道路改良・道路舗装・側溝改良	82,165	74,298	46,100	53,440	51,331	△ 22,967
	橋りょう長寿命化改良	202,175	191,366	160,000	156,583	117,802	△ 73,564
	旅行村線	236,260	150,863	150,000	233,077	225,336	74,473

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・橋りょう長寿命化修繕計画(Ⅱ期)に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 おわち橋ほか ・道路新設工事を実施した。 旅行村線 ・道路改良工事を実施した。 中切58号線ほか ・用地測量業務、補償調査業務、不動産鑑定業務を実施した。 ・道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。
評価等	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 ・コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・橋りょう長寿命化修繕計画(Ⅱ期)に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 徳野橋ほか ・道路新設工事を実施した。 旅行村線 ・道路改良工事を実施した。 名張上切線ほか ・測量設計業務、用地測量業務、不動産鑑定業務を実施した。 ・道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。
評価等	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 ・コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	290,030
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
290,030	290,030	290,030	△ 67,490
149,750	149,750	149,750	△ 35,600
	110,000	110,000	△ 32,000
140,280	30,280	30,280	110
査定額	説明		
28,500	名張上切線 ほか		
110,000	不動橋		
150,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・橋りょうの長寿命化、道路の整備推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	72390 県営土木事業負担金			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川			
担当課	建設部 建設課		内線	2321											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・市内において、県が実施する事業への受益者負担の支出
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		95,000	93,371	75,000	81,000	75,875	△ 17,496
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		95,000	93,371	75,000	81,000	75,875	△ 17,496
新規・拡充	主な事業内容						
	県営土木事業負担金	95,000	93,371	75,000	81,000	75,875	△ 17,496

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	75,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
75,000	75,000	75,000	0
75,000	75,000	75,000	0
査定額	説明		
75,000			

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号(荘川町地内)、一般国道361号(高根町地内)、都市計画道路花里本母線(花里町地内)、都市計画道路松之木下林線(桐生町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(三福寺町・中切町地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町・上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)、急傾斜地崩壊対策事業(奥飛騨温泉郷地内)他
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域の生活環境の向上に必要な施設等社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号(荘川町地内)、一般国道361号(高根町地内)、都市計画道路花里本母線(花里町地内)、都市計画道路松之木下林線(桐生町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(三福寺町・中切町・松倉・久々野地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町・上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)、一般県道谷高山線(国府町)、急傾斜地崩壊対策事業(奥飛騨温泉郷地内)他
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域の生活環境の向上に必要な施設等社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・県営土木事業の整備促進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	74300 ～ 街路整備事業費 74313			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
	款	7	土木費		ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり							
	項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3		都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します			
	目	2	街路事業費			施策分野	(4)		道路・河川					
担当課	建設部 建設課		内線	2328										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。	概要	・道路の新設 都市計画道路 松之木千島線 ・道路の拡幅改良、歩道設置 都市計画道路 西之一色花岡線
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
都市計画道路(市道部分)の整備率	57%	57%	—
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	67.7%	68.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		640,380	399,197	585,680	785,340	472,238	73,041
特定財源	国費 (街路整備事業費 5/10)	301,059	166,125	284,700	369,104	189,754	23,629
	県費 ()						
	その他(都市計画税)	203,450	113,092	292,400	305,620	178,424	65,332
一般財源		135,871	119,980	8,580	110,616	104,060	△ 15,920
新規・拡充 主な事業内容							
○ 1・2	都市計画道路松之木千島線(松之木～江名子間)	639,800	398,755	569,100	768,760	459,267	60,512
	都市計画道路松之木千島線(県道～国道41号間)						
○ 3	都市計画道路西之一色花岡線			16,000	16,000	12,511	12,511

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・都市計画道路松之木千島線 (千島工区) 道路改良工事を実施した。 裁決申請書等作成及び収用審理対策業務、不動産鑑定業務を実施した。 道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。 (松之木～江名子工区) 道路新設工事を実施した。 水文調査業務、残土処分場測量設計業務、補償調査業務、不動産鑑定業務を実施した。 道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。	

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・都市計画道路松之木千島線 (千島工区) 道路改良工事を実施した。 踏切改良詳細設計修正業務を実施した。 道路整備に必要な物件移転補償を実施した。 (松之木～江名子工区) 道路新設工事を実施した。 トンネル積算業務、建物影響調査業務、水文調査業務、補償調査業務、不動産鑑定業務を実施した。 道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。	

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	2,206,760
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,187,110	1,971,760	1,971,760	1,386,080
1,091,900	984,250	984,250	699,550
283,450	925,250	925,250	632,850
811,760	62,260	62,260	53,680
査定額	説明		
1,873,100			
53,000			
45,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・都市計画道路の整備に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74310 街路松之木千島線整備事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 建設課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 都市計画道路松之木千島線		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2328
			☐			目	2	街路事業費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の二車線化による快適な通行の確保を図る。	概要	都市計画道路松之木千島線(松之木～江名子工区)の整備
----	--	----	----------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	97,000
	繰越	
	補正等	
	最終	97,000
決算額		83,781
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	199,000
主な経費	都市計画道路松之木千島線道路整備	
対前年度増減額(当初予算)		102,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	199,000
	繰越	13,219
	補正等	
	最終	212,219
決算額		182,748
対前年度増減額(決算)		98,967

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	60,000
主な経費	都市計画道路松之木千島線道路整備	
対前年度増減額(当初予算)		△ 139,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・函渠工完成 ・橋梁下部工(A1)完成		
[評価等] ・計画どおりの進捗状況である。		
次年度以降の考え方(担当課)	・早期の工事発注に努め、計画どおり事業を推進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路松之木千島線道路整備 工事 令和5年度～令和7年度 継続費	
[スケジュール] R5 函渠工 R5～R6 橋梁下部工(A1) R6 左岸盛土工 R6～R7 橋梁下部工(A2) R6～R7 橋梁上部工 R7 右岸盛土工	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・左岸盛土工完成 ・橋梁下部工(A2)完成		
[評価等] ・計画どおりの進捗状況である。		
次年度以降の考え方(担当課)	・早期の工事発注に努め、計画どおり事業を推進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路松之木千島線道路整備 工事 令和5年度～令和7年度 継続費	
[スケジュール] R5 函渠工 R5～R6 橋梁下部工(A1) R6 左岸盛土工 R6～R7 橋梁下部工(A2) R6～R7 橋梁上部工 R7 右岸盛土工	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74310 街路松之木千島線整備事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 建設課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	2 都市計画道路松之木千島線		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2328
			☐			目	2	街路事業費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の二車線化による快適な通行の確保を図る。	概要	都市計画道路松之木千島線(松之木～江名子工区)の整備
----	--	----	----------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	都市計画道路松之木千島線道路整備	
対前年度増減額(当初予算)		10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	10,000
	繰越	
	補正等	
	最終	10,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	1,416,000
主な経費	都市計画道路松之木千島線道路整備	
対前年度増減額(当初予算)		1,406,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路松之木千島線道路整備 工事 令和6年度～令和10年度 継続費	
[スケジュール] R6～R10 トンネル工(施工ヤード、掘削工) R7～R9 明り部工(錦町)	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・トンネル工事における現地踏査の実施、施工計画書等の作成		
[評価等] ・関連工事との調整や、現地踏査を踏まえた仮設備の配置検討などにより、仮設ヤードの着手に遅れが生じたが、全体工程に影響はない。 ・今後工事が本格化するため、安全面や周辺環境に配慮し、関連工事と調整を図りながら適正な工程管理を行う。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・計画どおり事業を推進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路松之木千島線道路整備 工事 令和6年度～令和10年度 継続費	
[スケジュール] R6～R10 トンネル工(施工ヤード、掘削工) R7～R9 明り部工(錦町)	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74313 街路西之一色花岡線整備事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 建設課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	3 都市計画道路西之一色花岡線		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2328
			☐			目	2	街路事業費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	駅西地区へのアクセス向上を図るための重要な位置づけとなっている都市計画道路において、歩車道分離による安全で快適な歩行空間の確保及び車両通行の更なる円滑化を図る。	概要	都市計画道路西之一色花岡線の整備
----	--	----	------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	16,000
主な経費	都市計画道路西之一色花岡線道路整備	
対前年度増減額(当初予算)		16,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	16,000
	繰越	
	補正等	
	最終	16,000
決算額		12,511
対前年度増減額(決算)		12,511

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	45,000
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		29,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路西之一色花岡線道路整備 L=245.0m	
[スケジュール] R6 現況・路線測量、道路詳細設計	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・現況・路線測量の完了 ・道路詳細設計の完了	
[評価等] ・計画どおりの進捗状況である。	
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 都市計画道路西之一色花岡線道路整備 L=245.0m	
[スケジュール] R7 用地測量、補償調査	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	3	中部縦貫自動車道等推進費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 建設課		内線	2321										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整など事業促進に向けた協力
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,070	1,043	1,070	3,270	3,235	2,192
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		1,070	1,043	1,070	3,270	3,235	2,192
新規・拡充	主な事業内容						
	中部縦貫自動車道(高山～平湯間)の整備促進	1,070	1,043	1,070	3,270	3,235	2,192

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	41,070
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
41,070	41,070	41,070	40,000
		20,000	20,000
41,070	41,070	21,070	20,000
査定額	説明		
41,070			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。 ・中部縦貫自動車道(平湯～久手)の事業を進めるための地権者等調査を実施した。
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整、用地取得に向けた協力など、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査